

経営比較分析表（平成29年度決算）

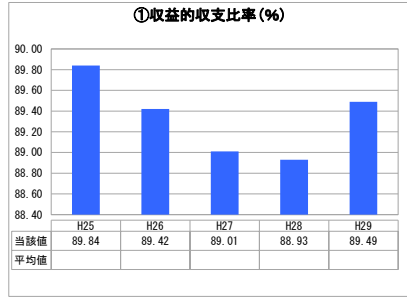
神奈川県 中井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Co2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	76.89	86.26	1,296

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,559	19.99	478.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,318	2.52	2,903.97

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

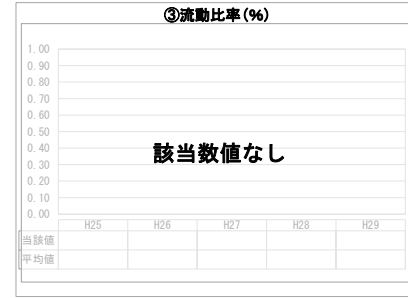
1. 経営の健全性・効率性



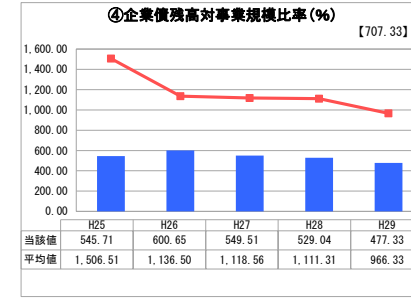
「単年度の収支」



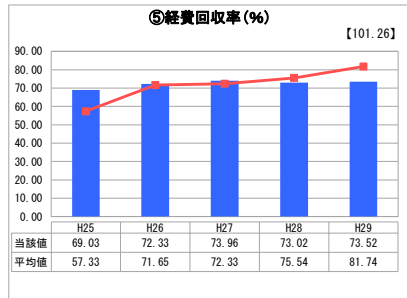
「累積欠損」



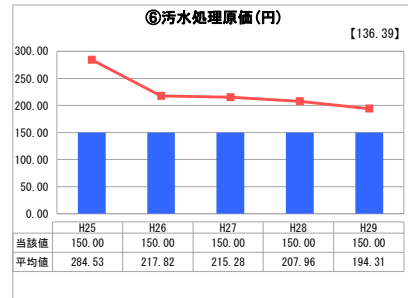
「支払能力」



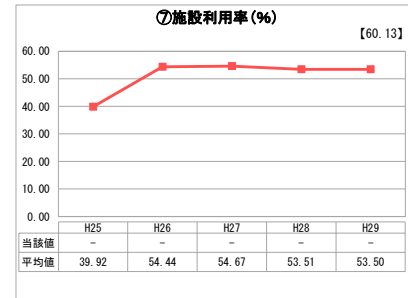
「債務残高」



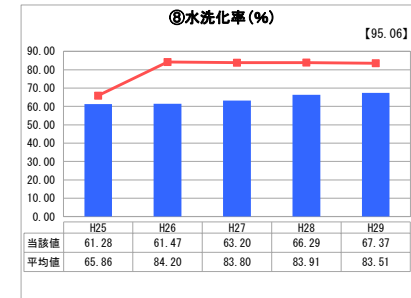
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

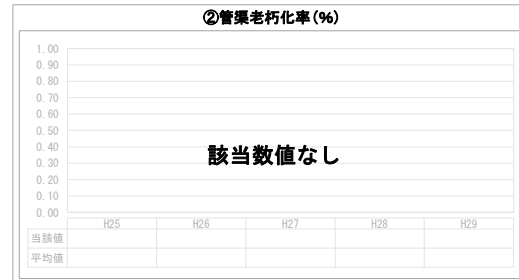


「使用料対象の捕捉」

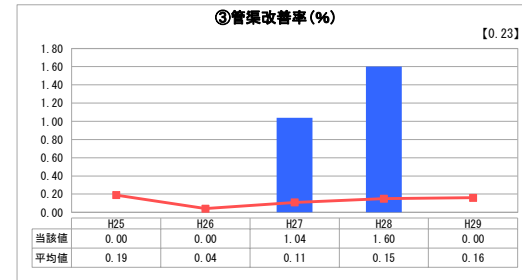
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%以下と単年度収支が赤字であることから、経営改善に向けた努力が必要です。
 経費回収率は同水準で推移していますが、類似団体と比較すると低い状況となりました。水洗化率も類似団体と比較すると低い状況なので、下水道への接続を促す取り組みを強化し、使用料の収入を増加させる必要があります。また、未収金の減額のため、滞納整理等の使用料徴収事務にも力を入れていきます。
 企業債残高対事業規模比率は、類似団体より低い水準ですが、経営の安定化のために事業を平準化させるなど、企業債の利用についてはよく検討をしていきます。

2. 老朽化の状況について

本町においては、平成11年度の供用開始で、管路施設は供用開始後約19年と比較的新しい施設であることから、現在、老朽化対策は実施していません。
 しかし、平成15年に県（企業庁）から移管を受けたコミュニティ・プラント施設が施工から43年を経過しており、改修更新時期を迎えている現状と、今後、施設の老朽化に伴い増大する維持管理費を踏まえると、施設の長寿命化や計画的な更新等を実施していく必要があります。

全体総括

今後は、施設の維持管理が中心となっていくことから、将来にわたり安定的な下水道事業を運営していくためには、経営状況と財政状況の明確化が不可欠です。本町では、平成28年度より地方公営企業会計化に着手し、平成32年4月からの移行に向けて準備を進めております。
 また、経費回収率を向上させるには、下水道使用料の改定が必要と考えています。下水道事業の健全な運営のために適正な料金水準となるよう運営審議会等で検討をしていきます。
 また、水洗化率も低いことから、下水道未接続世帯等への加入促進に力を入れ、使用料収入の向上を図っていくなど、安定的な事業経営を構築していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。